

避難所の迅速かつ円滑な開設・運営と 生活環境の確保に向けて

＜ワークショップ意見交換用＞

2022(R4)年1月18日

金浦地区まちづくり自治協議会
防災部会

(作成 防災士 藤井一男)

●平常時の準備1

□避難所の機能

避難のためだけの施設ではない

- ・災害対策の拠点
- ・備蓄の拠点
- ・緊急物資の集積場所
- ・情報発信と情報収集の場所
- ・在宅避難者と車中避難者のサポートの拠点 等

1. 避難所は限られたスペース、予め使用計画を作成

(1) 公民館(2階建)・・・使用禁止、使用制限等のスペース確認

- ・災害対策支援本部機能
- ・避難所機能【収容規模規】

※一人あたりの必要スペース

被災直後(座った状態): 1㎡ ⇒ 緊急対応(就寝できる状態): 2㎡ ⇒ 長期滞在: 3㎡ ⇒

感染症対策考慮: 4㎡

- ・福祉スペース、救護者スペース等の確保

(2) 公民館敷地と東広場の使用計画

- ・受付用テント、屋外避難者用テント、感染症対應用テントの設置場所の確保
- ・生活用水の確保場所、ペット保管場所、仮設トイレの場所、ごみ置場等の確保

(3) 笠岡市下水道ポンプ場用地の使用計画

- ・車中避難場所、運営関係者用駐車場、ごみ置場等

2. 在宅避難の要配慮者の安否確認、物資提供、医療等の支援方法(検討)

●平常時の準備2

□避難所の開設・運営に伴う、必要な物資、用具等の手配から確保

- ・開設方法 ・建物・施設の点検 と不良時の対処 ・ライフライン停止時の対処・措置 ・代替避難所の開設
- ・受付簿等各種様式 ・受付場所等の案内表 ・各班の運営ルールと注意喚起表
- ・備蓄品と生活物資等の確保 ・生活物資と仮設トイレ等要請先・供給ルール 等

1. 避難所の開設に関する用品等の確保

- ・受付簿、防災関係機関等の連絡先一覧、運営班の構成表と班表示紙、各種の運営ルール表示紙 等
 - ・個別避難計画、住民台帳
 - ・ライフライン停止時の措置と手配先リスト
 - ・通信機器類(PC、プリンタ、FAX、スピーカホン、トランシーバ等)のリストと保管場所一覧
- ⇒ **「開設キット」**化して、備蓄倉庫に保管・・・収納物の検討

2. 避難所における事務用品等の確保

- ・**「受付キット」**化して、備蓄倉庫に保管・・・収納物の検討と「開設キット」との統合検討

3. 避難所における備蓄品

必要な備蓄品と数量及び配備の優先順位

- ・地域の防災拠点の備蓄保管庫と各地区指定避難所(集会所等)での備蓄
- ・供給計画及び各地区への供給ルートを整備

※ 笠岡市の備蓄拠点から、防災拠点・地区指定避難所への供給ルートとルール化

(1) 飲料水と食料の備蓄

- ・食物アレルギー等の把握と備蓄の方法

(2) その他の備蓄品の備蓄

ア. 被災者の生命・身体の安全の保護優先

- ・災害用トイレ(要配慮者用、高齢者用等)、携帯トイレ等各種トイレの備蓄
- ・高齢者、乳幼児、女性等に配慮し、紙オムツや生理用品の備蓄
- ・感染症予防のため、マスク、手指消毒液、検温器等の備蓄
- ・照明(屋内・屋外)の確保
- ・通信環境の確保
 - 輻輳で携帯等が使用できない想定 (衛星通信、特設公衆電話等)
 - 災害対策・避難所運営用(PC、スピーカーホン、トランシーバ、Web会議等)
- ・燃料(マッチ、ライター、プロパンガス、固形燃料、カセットコンロ等)の備蓄

イ. 生活のための備蓄

- ・マット(敷物)、毛布、タオルケット、布団、身の回り品、日用品、調理具、食器等

4. 生活用水(トイレ用、清掃・洗濯用他)の確保

- ・貯水タンク、貯水槽の確保、近隣の井戸を利用

5. 避難所生活の衛生管理

- ・清掃用具の確保

●発災後における対応

□ 避難所は限られたスペースで、物資等は限られた状況

- ・様々な状況、事情を考慮し優先順位付け、「一番困っている人」から 機敏に、柔軟に、臨機応変な対応
- ・在宅避難、車中避難の方も支援対象
- ・食料・物資提供等の地域の支援拠点

1. 避難所の開設情報の周知

2. 受付

- ・世帯別の管理
- ・在宅避難・車中避難の把握
- ・要配慮者の把握、・有資格者の把握
- ・アレルギーの把握
- ・救急措置対応者の把握
- ・受付場所と受付の仕方・・・感染症対策

3. 感染症対策

- ・生活空間に入る前に、消毒、検温、問診(体調、基礎疾患等)
- ・発熱者、体調不良者への対応

◎避難者の人数・状況把握は、生活支援、アレルギー者への食料の配給等運営で重要

⇒ 避難者 一人一人の氏名・生年月日、性別、住所、アレルギー、支援の必要性の有無等を記帳

※避難者が、受付で記入し易い受付様式と管理の仕方について検討

◎受付案内表示、避難者名簿・各種管理表(様式)と筆記用具

⇒ 「受付キット」化、又は「開設キット」化の検討

4. 生活環境の整備

- ・プライバシーの確保間・・・仕切パーティションの確保
- ・感染症の予防
- ・災害用トイレ(高齢者・要支援者用)、ポータブルトイレ・・・仮設トイレの設置場所の確保
- ・寒暖対策等生活環境の改善対策
- ・要配慮者、高齢者の生活支援・・・マット、簡易ベット
- ・情報収集・・・テレビ・ラジオの配備
- ・炊出し場所
- ・洗濯場、簡易台所
- ・ごみ収集場の確保 等

5. 避難所でのルールと掲示

- ・運営に関する各種ルールや注意事項の掲示で、トラブル等の防止や感染症予防

笠岡市主催の避難所開設訓練参加者の声(R2. 11. 1)

●訓練概要

- ・R2. 11. 1に金浦中学校体育館(避難場所想定)で実施
- ・金浦地区(8地区各5名)、城見地区、陶山地区から約80名が参加
- ・責任者1名、総務班10名、施設・管理班10名、保健・衛生班9名・・・避難者役約50名
- ・笠岡市からの事前説明会は9. 13(金浦地区)と9. 26(3地区合同)

実施報告会(反省会)

・実施

⇒ 今回、反映

●参加者(一部の人)の声

1. 避難所開設・運営マニュアルのシュミレーションでは?(山陽新聞記事はマニュアルの検証)
 - ・笠岡市のマニュアルはあるの?
 - ・訓練用の「班構成、流れ」である旨の説明不足
 - ・要支援者支援(福祉)班が必要では?・・・要支援者が避難に参加されている
2. 受付は総務班(屋内で受付)、2次受付(保健・衛生班)の分担は?
 - ・感染症対策上、生活環境に入る前に検温<発熱の場合は入所せずに個別対応>・受付で問診では?
3. 受付で「避難所利用者登録票」の記入は困難
(メールアドレス、自治会名、自宅の被害状況、滞在の希望場所・組名)
 - ・避難受付時に必要な事項と、後で把握する事項に分ける等
4. パーテーションが高すぎ不安定で危険
5. 収容は、コミュニティ単位(1人、2人、3人用テント)に収容
 - ・段ボールベット入れると複数人収容は困難
6. 要支援者
 - ・聴覚・視覚障害者の入所後の対応なし(担当者苦言)
 - ・仮想要支援者(8人予定)は入所前(玄関付近)迄? 入所とその後の対応なし?